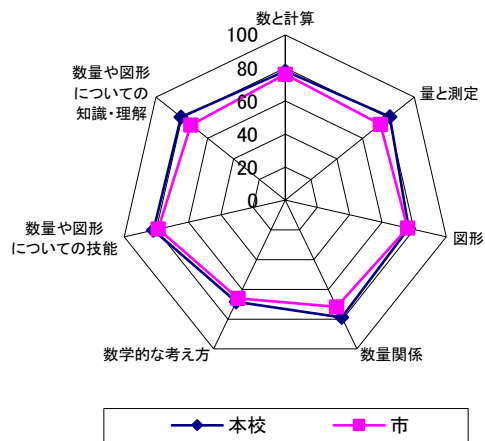


宇都宮市立瑞穂野北小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と計算	78.2	76.2	72.9
	量と測定	81.0	73.6	70.6
	図形	76.7	76.0	72.1
	数量関係	78.9	71.8	66.9
観点別	数学的な考え方	68.3	65.9	58.0
	数量や図形についての技能	81.8	78.9	76.2
	数量や図形についての知識・理解	80.6	73.1	70.4

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	<p>本校の平均正答率は、78.2%で、市の平均正答率を上回った。</p> <p>○分数のたし算・わり算の正答率が高い。</p> <p>●小数のかけ算・わり算の正答率が低く、小数の計算に課題が見られる。また、文章問題に合う図と式を選ぶ問題において、図は正しいが式を誤っている回答が多く、図を用いて数量の関係を考えることに課題が見られる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な計算の定着を図るために、計算ドリル等を活用し、速く正確に解けるよう繰り返し指導していく。 図を用いて考えたり説明したりする力を育てるために、数量の関係を図で表す活動や、図を読み取って式を作る活動を積極的に取り入れていく。
量と測定	<p>本校の平均正答率は、81.0%で、市の平均正答率を上回った。</p> <p>○面積や体積を求めることについては、市の正答率を上回っている。</p> <p>●速さをもとに、ある道のりを移動するのにかかる時間を求める式を選ぶ問題において、市の正答率を下回っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 単位量あたりの大きさや速さについては、関係を表や図に表すことで、問題の意味が理解できるようにしていく。その際、単位にも留意させながら、問題を解くように指導する。
図形	<p>本校の平均正答率は、76.7%で、市の平均正答率とほぼ同じである。</p> <p>○正六角形の作図方法から、正三角形の1つの内角の大きさと、正六角形の1つの内角の大きさを求めることについては、市の平均を上回っている。</p> <p>●対称な図形を選んだり、合同な図形を作図したりすることについては、課題が見られる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 復習問題やドリル学習などを通して、学習の系統性を意識させていく。また、具体物を用いた活動を多く取り入れ、図形の定義や性質を理解できるようにしていく。
数量関係	<p>本校の平均正答率は、78.7%で、市の平均正答率を上回った。</p> <p>○文字の式・比例反比例・帯グラフから割合を読むことについては、市の正答率を上回っている。</p> <p>●比を使って求めることについては、課題が見られる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 割合と比については、場面を図や絵に表すことを通して、基にする量や比べられる量を明確に捉えながら、問題を解いていくようにする。